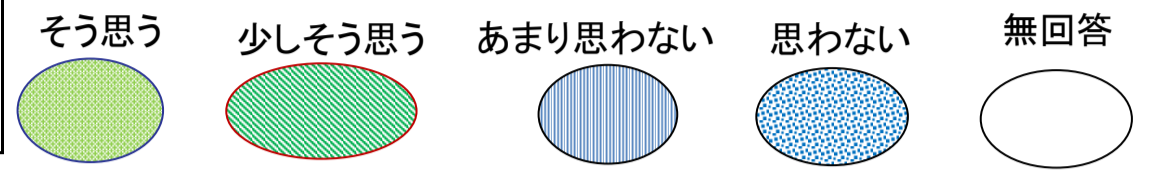
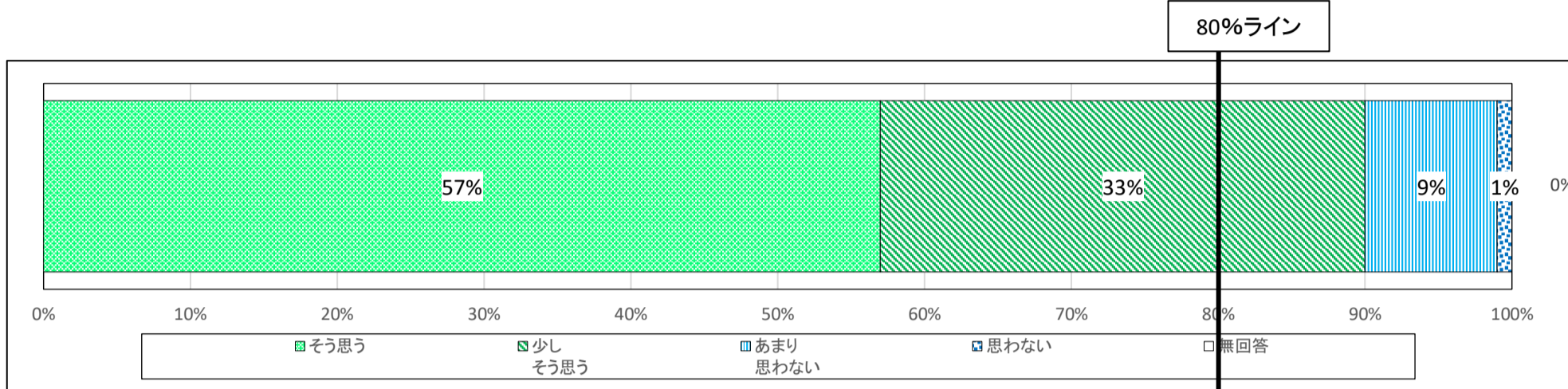


<実施日> 令和3年（2021年）12月3日～12月14日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校保護者（1年～6年）
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	44	33	75%
2年	47	35	74%
3年	39	34	87%
4年	49	38	78%
5年	42	32	76%
6年	43	34	79%
全体	264	206	78%

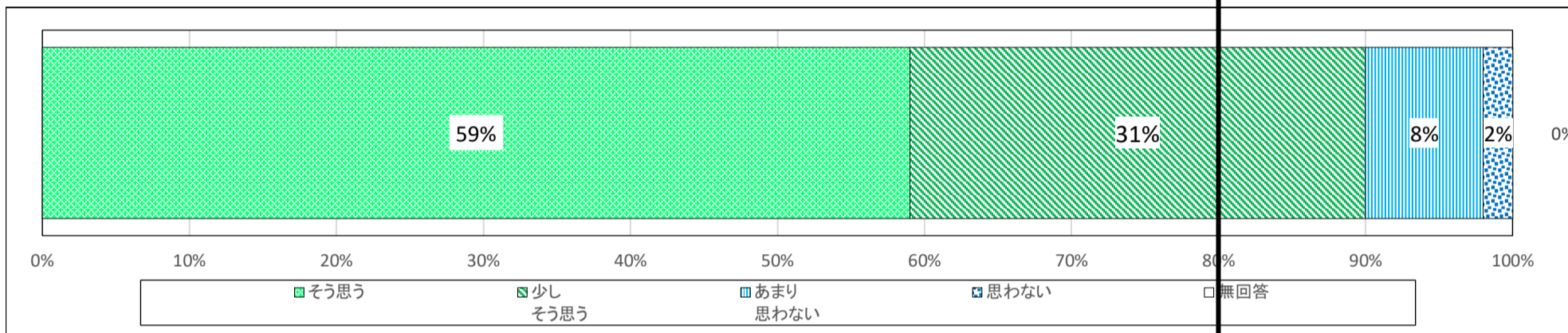


1 学校は、自分と相手の違いを受け入れ、自分や相手のことを大切にしながら関わろうとする態度を育てようとしている。



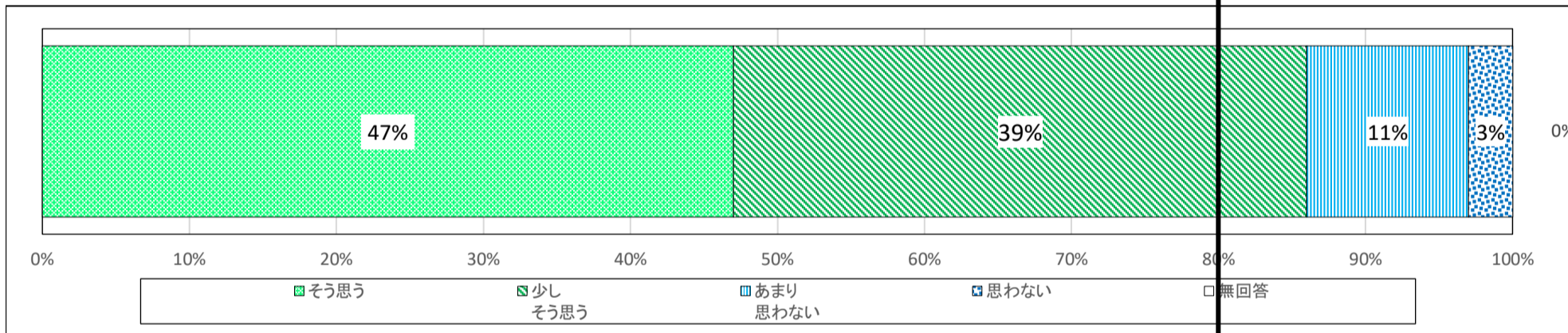
昨年度同様、プラス評価（「そう思う」＋「少しそう思う」）は高いです。しかし「そう思う」という評価が11ポイント減りました。豊島小では、学校研究として「認め合える児童の育成」に取り組んでいます。「認め合える」とは、「自分と相手との違いを受け入れ、自分のことも相手のことも大切にしながら関わり合うこと」と考えています。一人ひとりの心を大切にしながら、互いに思いやることができる集団をつくることに努めていきます。

2 学校は、児童に生命を大切にすることや社会的ルール・マナーを大切にしようとする態度を育てようとしている。



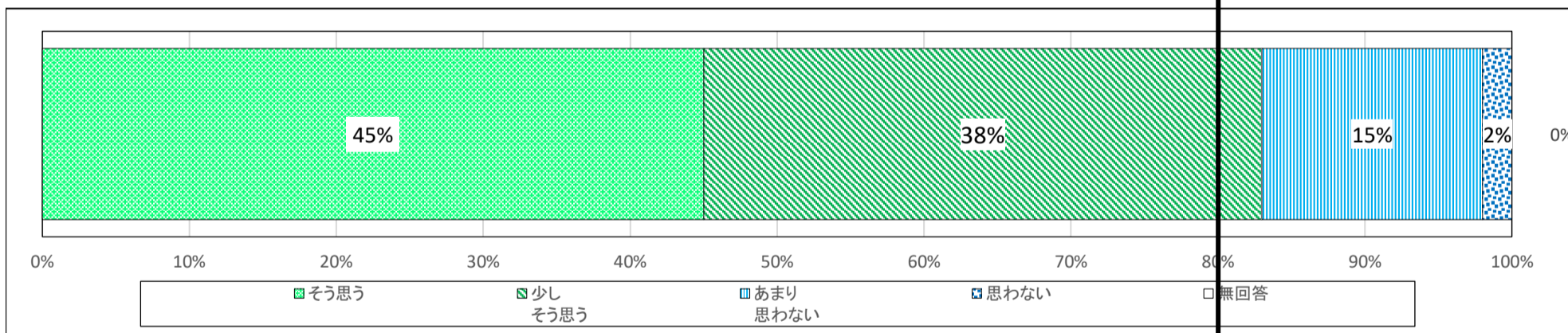
No.1の項目同様、プラス評価が高いです。ルールやマナーだから守るのではなく、なぜそのルールやマナーがあるのかを考えることで正しい行動がとれるような児童になってほしいと考えています。またNo.1と関連してきますが、他者との違いを受け入れ、自分を含めた全体を大切に社会の中の一人として活動できるような態度を育てようとしています。

3 学校は、人を思いやり豊かな心情を持つ児童を育て、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。



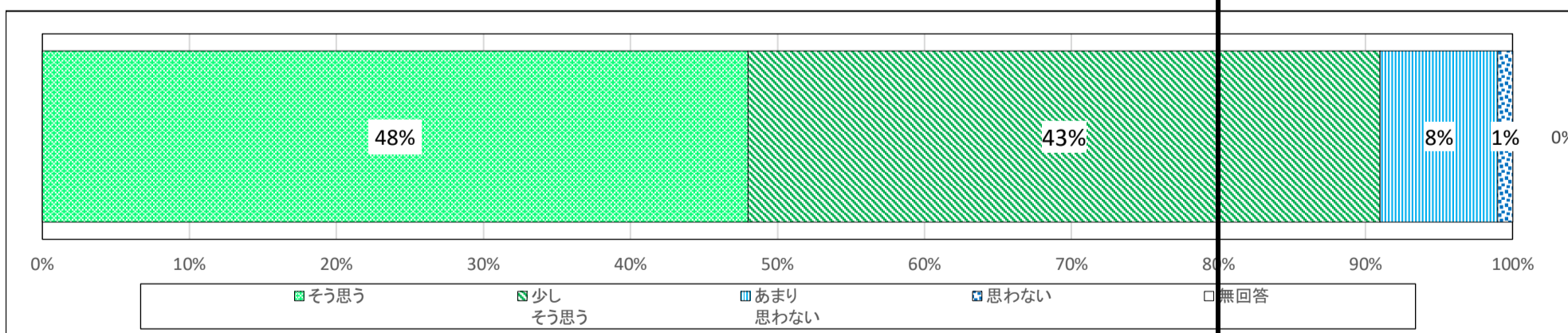
プラス評価が少し減りました。学校に通うことで、毎日多くの人と関わり様々な集団活動を行います。友だちと遊んだり、意見を交わしたり、みんなの力を合わせて何かをやり遂げたりすることを通してお互いを思いやる態度を育てようとしています。いじめを許さないという気持ちを全員が持てるような環境づくりに努めていきます。

4 学校は、個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めている。



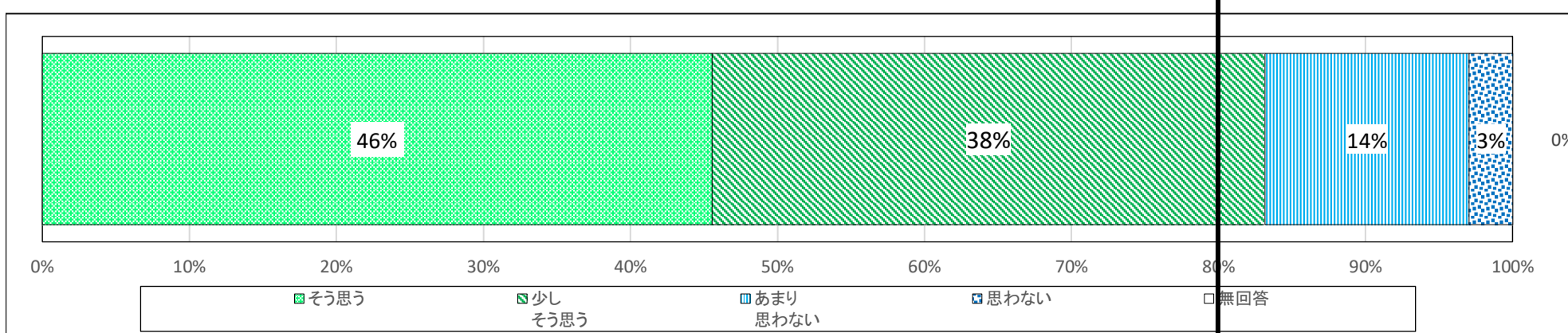
学級担任は、できる限り一人ひとりに寄り添うことを心がけています。また、学習支援・登校支援等多様な活動を行っています。そして、全職員が、それぞれの立場でできる最善を尽くそうとしています。「そう思う」という割合を増やせるよう今後も、ご家庭と連携しながら、指導や支援に努めていきます。

5 学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。



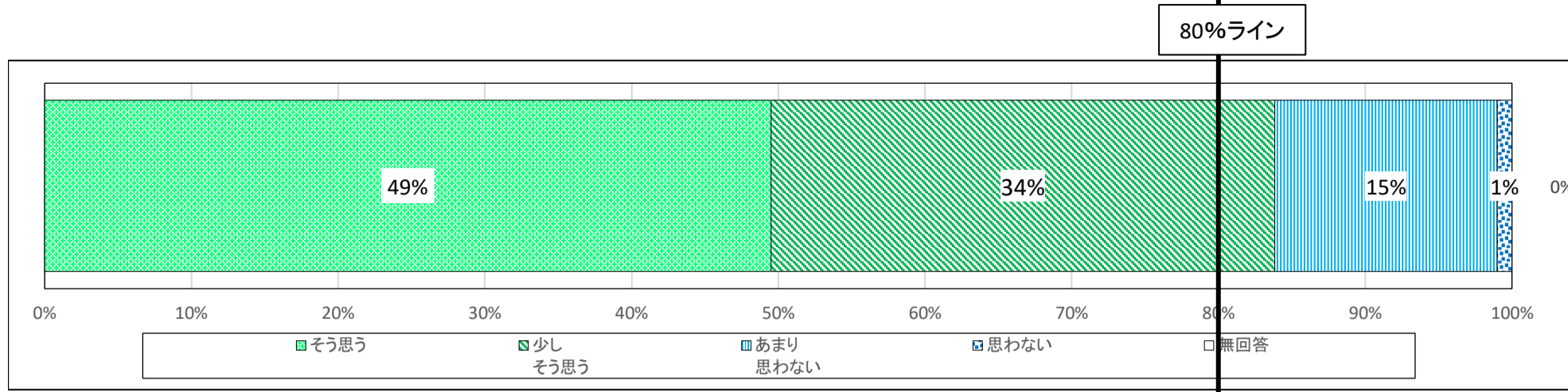
プラス評価は昨年度とほぼ同様高いです。今年度も新型コロナウイルス対応で授業参観を行うことができませんでした。そのような状況でしたが、日頃のお子さんの様子を見ていただいたご意見と受け止めています。「わかった」という実感が持てると、学習の楽しさにつながっていきます。そしてそこから、「もっとやってみよう」という気持ちがわいてきます。今後も、わかりやすい授業づくりに努めていきます。

6 学校は、児童に深く考える力をつけようとしている。



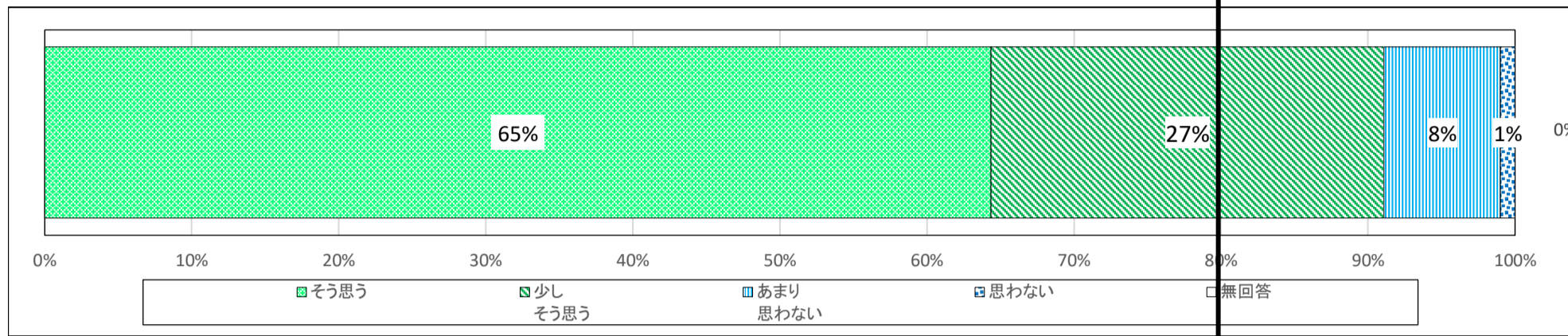
昨年度9割を超えていたプラス評価が10ポイント近く減りました。「考える力」が児童の「生きる力」の柱となります。授業だけでなく、いろいろな活動を通して、すぐに決断する力を育てる一方で、じっくりと考えを深めていく、課題や問題を自分なりに工夫してなんとか解決していく力がつくよう努めていきます。

7 学校は、児童に自分を表現する力をつけようとしている。



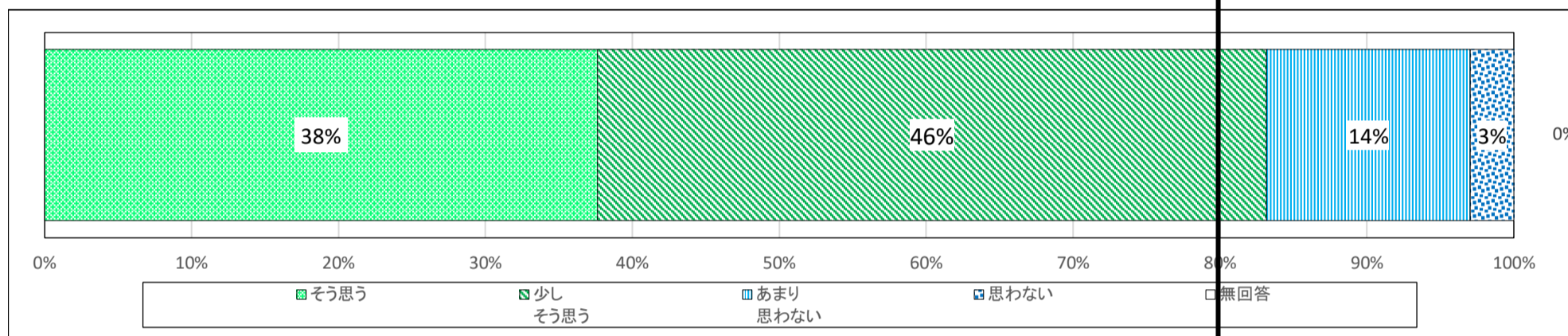
プラス評価が10ポイントほど減りました。自分の考えを書いたり意見を伝えたりする力は、基本的で大切な力です。言葉だけでなく、行動や作品で自分を表現することも重要です。まずは、児童の書いたり言ったりしていることをしっかりと受け止め、安心して自分を表現できるように努めていきます。

8 学校は、友だちと元気に遊び、丈夫でたくましい子を育てようとしている。



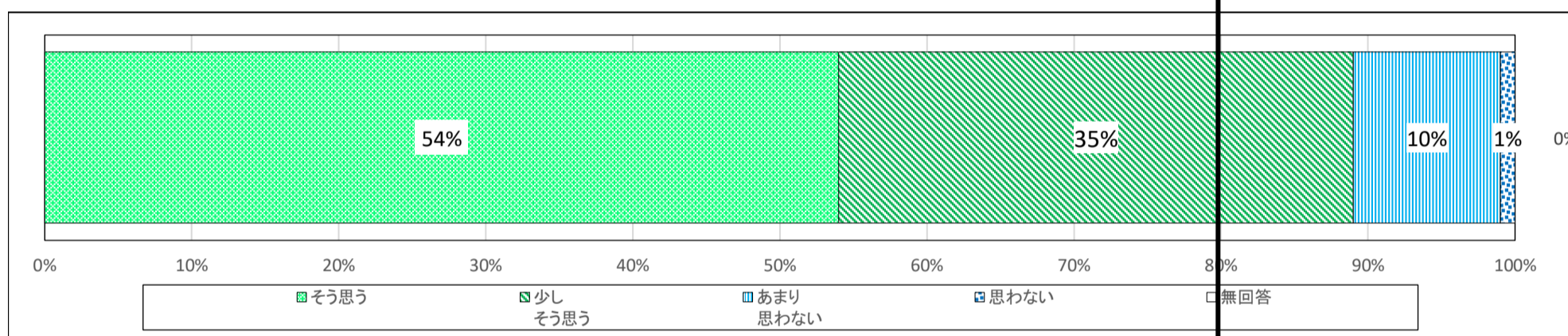
今年度も活動が制限される中、休み時間や放課後の時間に、元気に遊んでいる児童がたくさんいました。このことは、丈夫な体づくりにつながっていると思います。体育の授業でも体力向上に努めています。また体育委員会での「運動がんばりカード」、健康委員会で「メディアコントロールチャレンジ」など児童が主体となる活動も進めています。今後も、学校と家庭で連携していきたいと思っています。

9 学校は、ねばり強く頑張る子を育てようとしている。



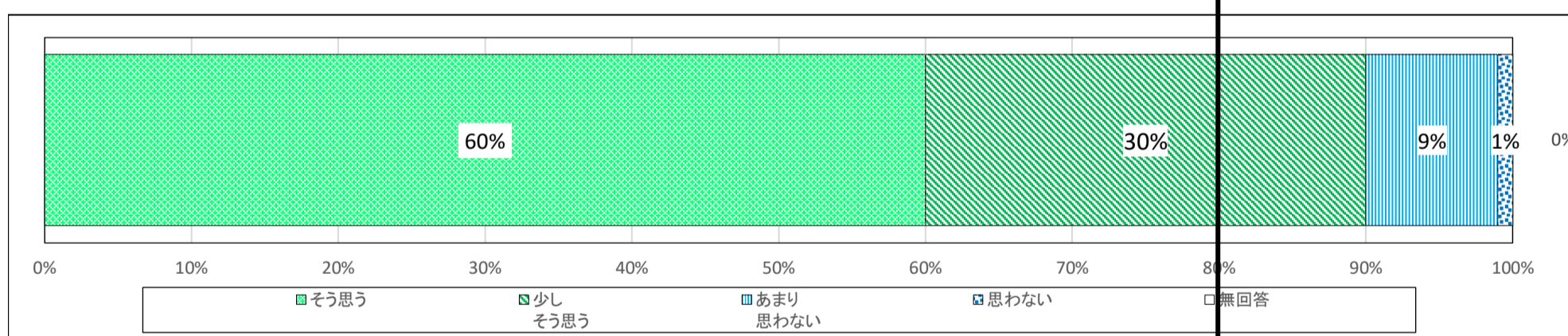
今年度新しく設けた項目です。No.18の項目にも関係しています。知識や技術の習得は大切なところですが、併せて求められていることは「生きる力」を育成することです。言われたことを実行するだけでなく、自分で計画し、実行する児童、うまくいかないからあきらめるのではなく、工夫や継続しようとする児童を育てたいと考えています。

10 学校は、健康・体力増進・食に関する指導などに努めている。



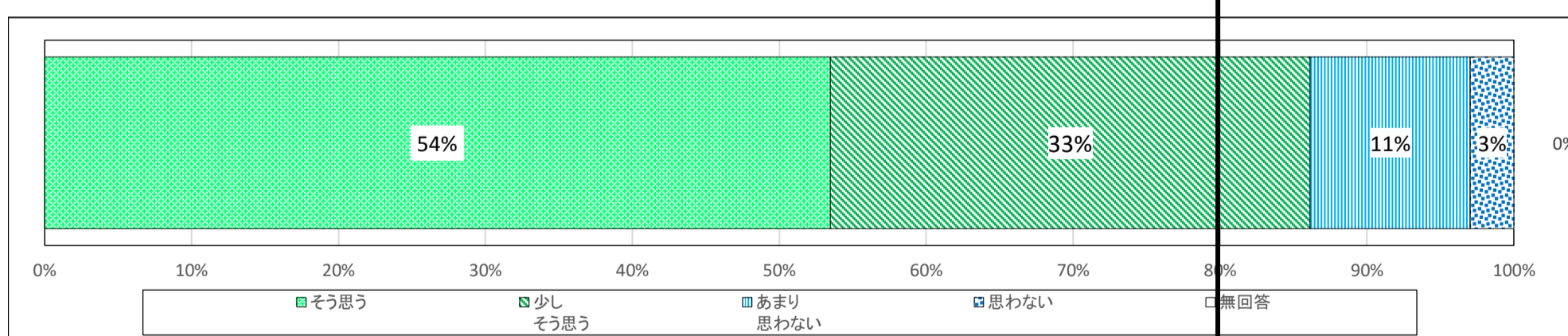
プラス評価は昨年度より6ポイント減りました。保健室から、健康管理についての情報などを定期的に発信しています。体育では、ソーシャルディスタンスを保ちながらできる運動を意識して取り入れるなど、各クラスで工夫しています。給食は配膳を配りきりにして、学年に応じた一食当たりの適切な量や栄養バランスがわかるように、児童に継続して伝えていきます。

11 学校は、たしかめカードや通信簿・個人面談などで、児童の学習の様子や成果をわかりやすく伝えるように努めている。



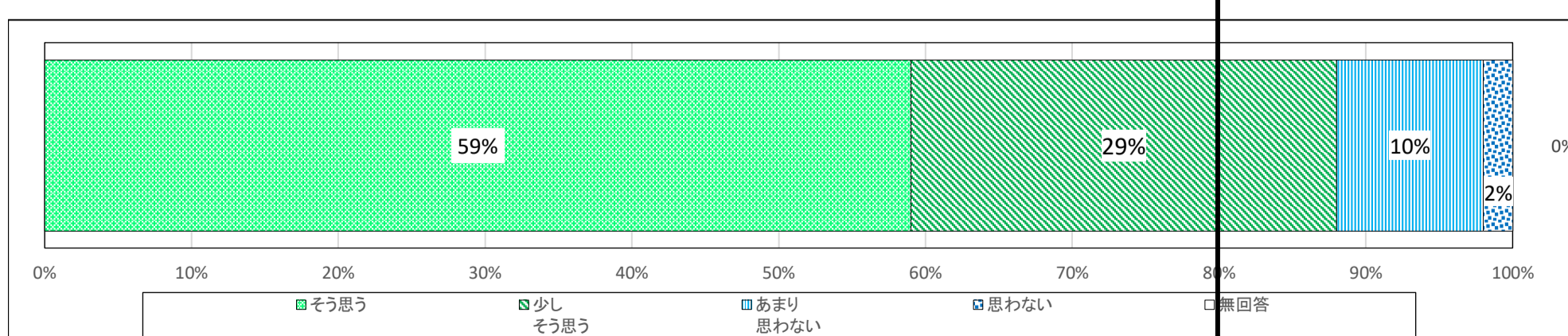
授業参観が行えず、年2回の個人面談、たしかめカード、通信簿などでわかりやすく伝えることの難しさを感じています。学年学級の学習の様子については、毎週ではありませんが、様子が載せて伝えていきます。個々の様子や成果については、日頃のノートやプリント、テストなども見ていただくとさらに伝わりやすくなるかと考えます。

12 学校は、児童の日常生活の様子をわかりやすく伝えるように努めている。



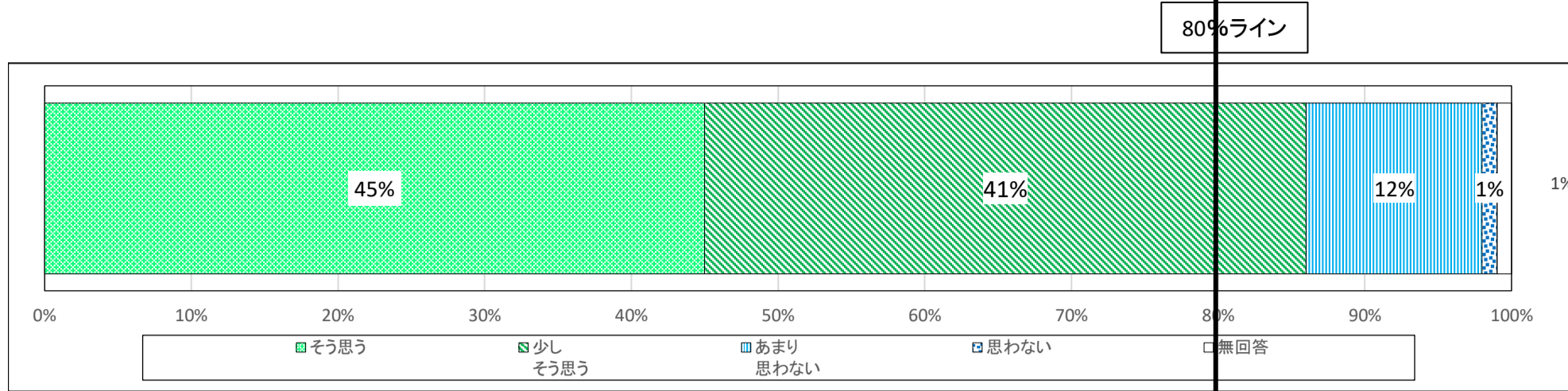
プラス評価が3ポイント減りました。今年度も長期的な予定をお知らせすることができませんでした。併せて急な変更や臨時の対応をお願いすることがあり、わかりにくかったと思います。学校からのお知らせ（学校便り・学年便り・学級通信・保健便りなど）に関心をもって読んでいただけるよう、また学校までご足労いただいている面談もいっそう有意義なものになるように努めていきます。

13 学校は、児童の学習や学校生活、心身の健康などについての相談に、適切に対応している。



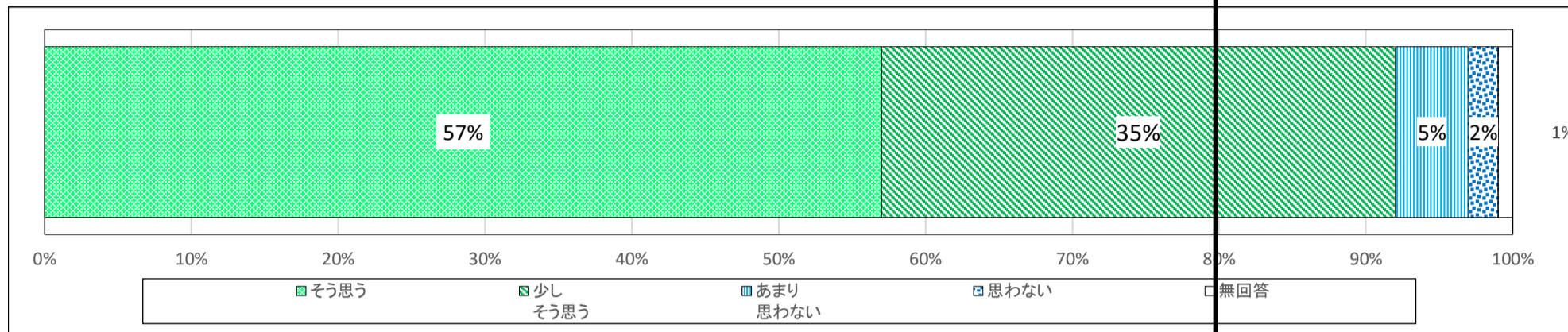
プラス評価は5ポイント減りました。担任が窓口ではありますが、情報を共有し学校組織としての対応を心がけています。また、外部機関と連携をとっていくこともあります。ふれあい相談員や月2回来校するスクールカウンセラーも相談に応じますので、活用していただければと思います。今後も、よりよい対応を目指していきたいと思っています。

14 学校は、安全な環境で安心して過ごすことができるよう施設・設備を整備している。



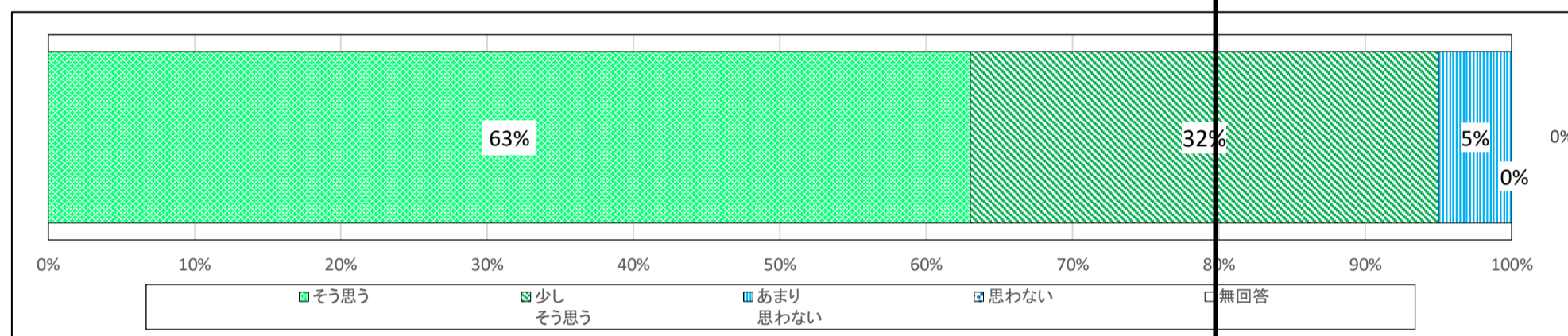
プラス評価は、2ポイント増えました。古い校舎ですが、これまでに耐震工事を済ませており基準を満たしています。毎年、市と情報を共有し少しずつ改修も行っています。毎月、全職員で分担箇所安全点検を行うとともに、校庭の遊具等は機会あるごとにチェックを心がけ、危険箇所を見逃さないようにしています。今後も、施設・設備の状態を常に把握し安全を心がけていきます。

15 学校は、防災・防犯などに備えた指導や対策をとっている。



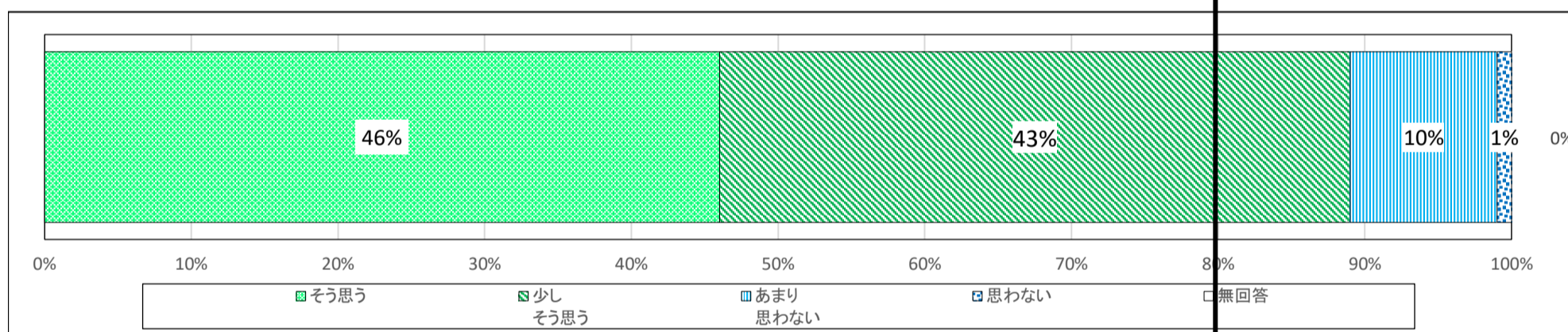
昨年度もプラス評価が大きく増えた項目です。今年度も2ポイント増えました。避難訓練等は、感染防止対策を実施しながら行ってきました。また学年・学級での指導を丁寧に行ってきました。携帯安全教室については全学年対象に行いました。今後も学年・学級での指導・全体での指導を取り交ぜながら、安全で安心できる状況をつくっていききたいと思います。

16 お子さんは、人を思いやる子に育っている。



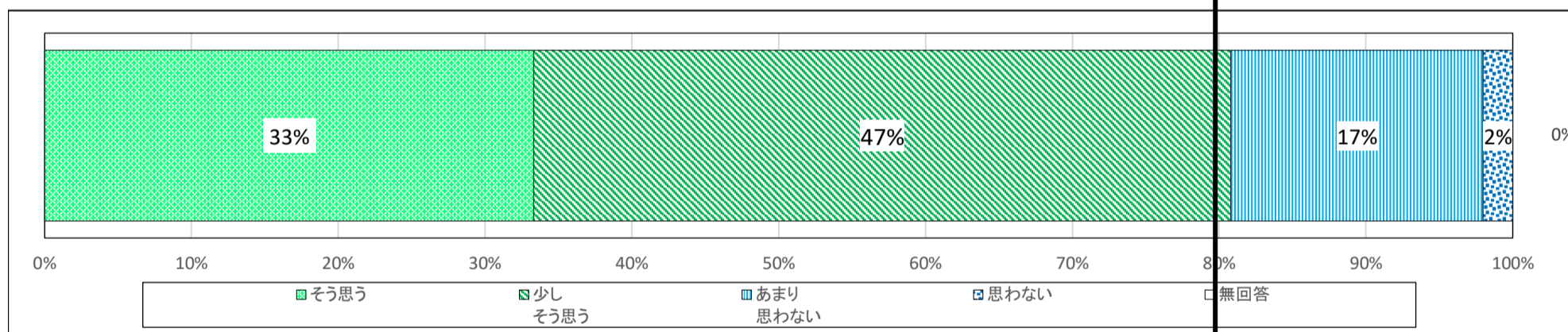
この質問以降は、一人ひとりのお子さんについて保護者の方がどう思われているか答えていただいています。プラス評価は、昨年度とほぼ同様です。思いやりの心をもっていることは何より素晴らしいことです。おうちの方にこう思われているお子さんが、今以上に相手のことを考えることができる児童に育ててほしいと思います。

17 お子さんは、学校の授業を理解している。



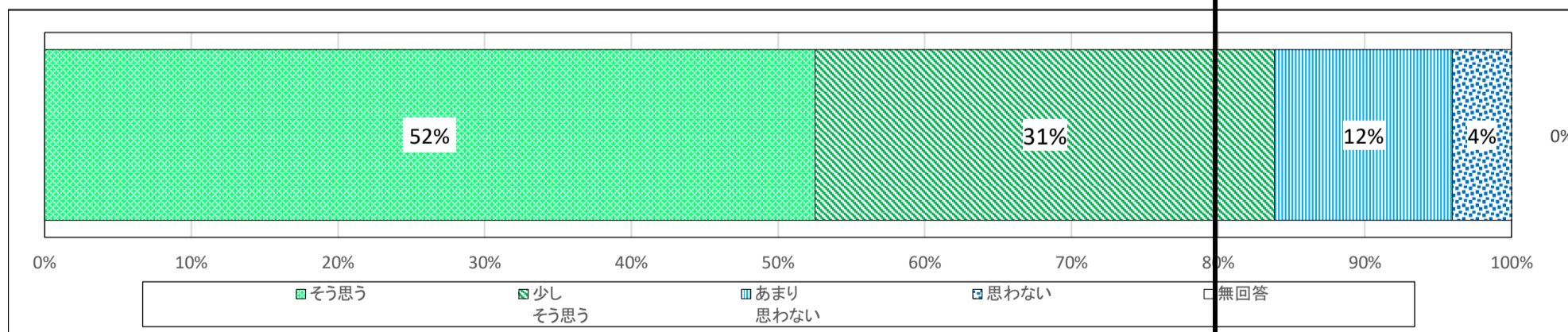
昨年度大きくプラスが増えた項目でしたが、今年度はプラス評価が3ポイント減り「そう思う」は12ポイント減りました。No.5の項目と関連させて、指導方法の工夫や個に対応した指導を行っています。どんなことがわからないのか、どこに課題があるのかを把握しながら、学校では、これからも「わかりやすい」「できたと感じることができる」授業を目指していきます。

18 お子さんは、困難に負けなたくましい心を持った子に育っている。



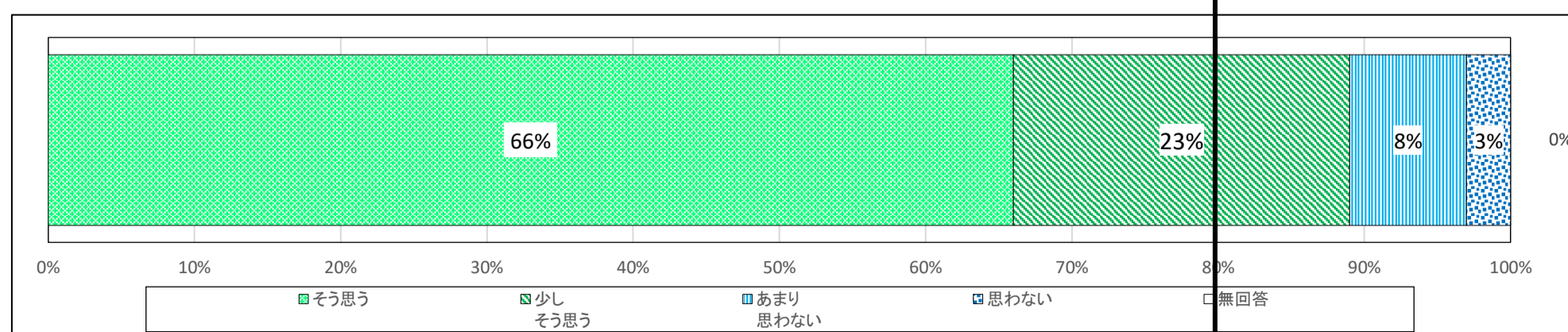
プラス評価が6ポイント減りました。No.9の項目に関連して、学習だけでなくいろいろなことにねばり強く取り組む児童を育てたいと考えています。体力向上による体のたくましさ、年齢相応の忍耐力の両方の力がつくよう目指しています。学校では、挑戦する気持ちをサポートすることを大切にしていきます。

19 お子さんは、家で学校の事をよく話している。



プラス評価は、昨年度同様です。家で学校の様子を話す児童が多いということは良いことだと思います。うまくいった、楽しかった内容ばかりではないでしょうが、No.9、No.18の項目とも関連付け、受け止めていただくとありがたいです。話をしようと思っているけれど話づらい年頃ということもあるかもしれません。ご家庭で話すきっかけをつくっていただけるようお願い致します。

20 お子さんは、楽しく学校に通っている。



プラス評価は9割近くではありませんが、昨年度より4ポイント減りました。新型コロナ感染防止対策で学校の様々な活動に制限があり、「もっと楽しみたい」という気持ちを多くの児童が持っていると思います。制限がある中でも楽しみを見つけられるようにNo.1の項目でも書きましたように、人との関わりや集団で活動する価値を伝え、全ての児童が気持ちよく過ごせる学校づくりを心がけていきます。